

受付	代表質問 令和 年 月 日	第 号 時 分
----	------------------	------------

一般質問＜代表＞発言通告書

令和8年2月10日

長久手市議会議長 殿

会派名 香流

長久手市議会議員 なかじま和代

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>施政方針と公共インフラ・公共サービスの持続性について</p> <p>(1) 市長は、事業総点検によって約4億円の財源を確保したと述べているが、先の臨時会において、職員給与等の改定により、人件費の増加が生じることが示された。結果として、事業総点検の効果が相殺された形になっているとの受け止めについて、市長はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 市民生活への影響を極力抑えながら、事業総点検により財源確保を行ったとのことであるが、一方で、水道、ごみ処理、地域医療、火葬といった市民生活を支える基盤的サービスについては、広域化や施設更新、物価・人件費上昇などにより、公的負担の在り方が問われる局面にある。これらの分野を、令和8年度以降、どのような考え方で支えていくのか、市長の認識を伺う。</p> <p>(3) 中部水道企業団においては、新水道料金月額表に改定され、令和7年6月から水道料金の値上げが実施された。市民生活に直結する料金改定が行われた中で、今後、市としてどのように市民理解を図り、負担のあり方について説明していくのか。</p> <p>(4) 一般廃棄物処理基本計画では、減量効果の検証結果によっては、手数料の見直しも検討するとされている。水</p>	

	<p>道料金の値上げが既に行われた中で、ごみ処理における将来的な負担の考え方や、市民への説明の在り方について、市の認識を伺う。</p> <p>(5) 公立陶生病院においては、救急・周産期医療など不採算医療を担うため、一般会計からの負担金が重要な役割を果たしている。物価高騰や人件費上昇、施設整備負担が続く中で、地域医療をどの水準で支えていくのか。</p> <p>(6) 本市は火葬場を持たず、近隣自治体に依存している状況にある。その結果、亡くなってから火葬までに時間を要するケースもあり、市民に不安の声がある。火葬を含む終末期に関わる公共サービスについて、市としてどのように市民の安心を確保していくのか。</p> <p>(7) 市民税は増収する中で、事業総点検では「削る」議論が先行したため、市民の楽しみや安全、糧が削られ、市民にとって将来への希望が見えにくい状況がある。今後、どのような工夫を行っていくのか。</p>	
2	<p>国・県主催事業における市民参加と、市の関わりについて</p> <p>令和7年には、愛・地球博20周年記念事業が、愛知県主催により実施された。会場は長久手市に所在する愛・地球博記念公園であったが、市民の声を聞くと、「市民として関わった実感が薄かった」といった受け止めが多数だった。</p> <p>(1) 愛・地球博は、「自然の叡智」をメインテーマに、「市民参加」「共生」「環境」を理念とした博覧会であり、その20周年記念事業においても、理念の継承が重要であったと考える。県主催の大規模事業に対し、市として主体的に関与し、市民・地域・学校等を巻き込む余地はなかったのか。また、その点についての検証は行われているのか。</p> <p>(2) 今年度開催されるアジア・アジアパラ競技大会に向け、本市として、競技会場の有無にかかわらず、市民参加、共生社会、バリアフリー等の理念を、どのように市の施策や取組につなげていく考えか。</p>	
3	<p>部活動の地域展開について</p> <p>将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保・充実させることは必要だと考える。長久手市では、国の部活動改革の流れを先取りする形で、中学校の休日および長期休業中の部活動指導を、民間事業者であるリーフラス株式会社に委託し</p>	

て実施している。教員の負担軽減や、部活動の持続可能性を確保する取組として一定の意義がある一方で、実際の運用においては、子どもや家庭にとっての負担、活動環境の変化など、新たな課題も見え始めている。また、こうした流れと並行して、国の制度上の整理や明確なルールがない中で、長年続いてきた小学校の部活動が廃止されたことについても、市民から再開を願う声がある。

- (1) 現在実施している休日・長期休業中の部活動指導の民間委託は、国が示す部活動改革・地域クラブ活動への移行の中で、本市としてどの段階に位置づけているのか。
- (2) 公式大会等に出場する際のユニフォームや用具について、所有・管理・更新の責任主体をどのように整理しているのか。
- (3) 休日部活動において、活動場所が市外の施設となる場合があるが、その理由と、子どもや家庭の負担を踏まえた活動場所選定の考え方を伺う。
- (4) 国の制度上の明確な位置づけがない中で、長年続いてきた小学校の部活動を廃止するに至った経緯と判断理由について伺う。